

平成 30 年 2 月 16 日

特 別 区 長 会
東 京 都 市 長 会
東 京 都 町 村 会
公 益 財 団 法 人 特 別 区 協 議 会
公 益 財 团 法 人 東 京 市 町 村 自 治 調 査 会

オール東京 6 2 市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

「平成 30 年度実施事業」について

東京におけるみどりの保全や地球温暖化防止対策に連携・共同して取り組むため、都内の 6 2 市区町村はオール東京 6 2 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を平成 19 年度から実施しております。

過日開催されました共同事業推進会議において、平成 30 年度に実施する事業の詳細が決まりましたので、平成 29 年度の事業実績と併せてお知らせいたします。

【資料】

- 1 平成 30 年度 オール東京 6 2 市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」主な取組
- 2 平成 30 年度 オール東京 6 2 市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」事業計画
- 3 平成 29 年度実施事業について

資料 1

資料 2

資料 3

【問い合わせ先】

※各事業で担当が異なります。

別添資料 2 の平成 30 年度事業計画一覧の問い合わせ先欄をご参照下さい。

特別区長会事務局 調査第 1 課長 菅野
電話 03-5210-9737

東京都市長会事務局 企画政策室長 田川
電話 042-384-6396

東京都町村会事務局 事業課長 大房
電話 042-384-8041

公益財団法人特別区協議会 事業部副参事 齋藤
電話 03-5210-9915

公益財団法人東京市町村自治調査会 事業部長 木幡
電話 042-382-7781

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」ホームページ
<http://all62.jp/>

平成 30 年度 オール東京 62 市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」
主な取組

■ 62 市区町村の気候変動への適応策の実施、推進を支援します。

平成 30 年度から 3 年間の継続事業として、従来の地球温暖化対策で取られてきた「緩和策」に加え、気候変動により現れる影響の回避・低減等を図ろうとする「適応策」を実施、推進できるよう、研究面から支援します。都内 62 市区町村が地域ごとに抱えるリスクや課題を洗い出した上で、各自治体の庁内横断的な取組体制や、自治体間等の協力・連携・補完体制の構築など、効果的な「適応策」を検討します。

1 年目の平成 30 年度は、アンケートや政策動向の分析などの基礎となる調査や、研究会、見学会及び個別相談会を実施します。

(資料 2 事業計画一覧 ④気候変動への適応策に関する調査研究)

■ 市民協働型温暖化対策実行計画推進研究会を設置・運営します。

2015 年 12 月のパリ協定の採択を受けて、国や東京都において策定された計画における温室効果ガス排出量の削減目標は極めて厳しく、各自治体においても、より一層の実効性ある対策が求められています。

そのため、各自治体で設定する削減目標を現実的に達成する手法について、東京 62 市区町村が共有し、具体的な方策を共同して研究・検討できる「場」として本研究会を設置します。

研究会においては、専門家による講演や先進的な取組の実例に触れる機会を設け、各自治体における計画の策定に資する情報の提供等を行い、削減目標の具体的な達成に寄与することを目的とします。

さらに、これらの活動を情報発信するとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催なども踏まえた 62 市区町村の共同行動の実施により、本プロジェクトの総合的な P R の実施及び普及啓発を図ります。

(資料 2 事業計画一覧 ⑤市民協働型温暖化対策実行計画推進研究会の設置・運営)

平成 30 年度 オール東京 62 市区町村共同事業 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」事業計画

1 平成 30 年度事業の基本的な考え方

東京の基礎自治体である 62 市区町村は、平成 19 年度から「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を立ち上げ、共同・連携して様々な取組を行ってきた。

平成 30 年度は、これまでの事業の検証及び今後の事業の検討をもとに、国の環境施策の動向等を踏まえながら、より効果的な事業を実施していく。

2 平成 30 年度事業計画一覧

事業名	主な事業内容	区分	3つの行動			問い合わせ先
			普及啓発	連携体制構築	行動の場づくり	
①標準算定手法による温室効果ガス排出量算定の共有化推進	○62市区町村の温室効果ガスの排出量を算定し、その結果を公表する。 ○市区町村ごとのデータ分析を積み重ねる。	継続	○	○		特別区協議会 東京市町村自治調査会
②各団体の実施する事業との連携	○62市区町村の実施事業に、1市区町村100万円を限度として助成する。 ○各自治体の成果をホームページ上でPRしていく。	継続	○		○	特別区協議会 東京市町村自治調査会
③ホームページの維持管理	○HP「ECOネット東京 62」を適宜更新し、オール東京 62 市区町村共同事業の普及・啓発に努める。	継続	○	○	○	特別区協議会
④気候変動への適応策に関する調査研究	○従来の「緩和策」に加え、各自治体が効果的に「適応策」を実施・推進できるよう調査研究を行う。	新規	○	○		東京市町村自治調査会
⑤市民協働型温暖化対策実行計画推進研究会の設置・運営	○各団体における実行計画の策定に資するための取組事例等を研究するとともに本プロジェクトの総合的なPR策を展開する。	新規	○	○	○	特別区協議会
事業費合計			1億3,480万円			

平成 29 年度実施事業について

1 CO₂削減につながる活動の普及・省エネルギーの促進・温室効果ガス排出抑制

(1) 共同事業普及・啓発

- ・「ゴーヤ・アサガオの種」を各自治体に配布

(2) 温室効果ガス標準算定手法の共有化推進

- ・62市区町村の温室効果ガスの排出量を算定・公表

2 みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制構築

(1) 各団体の実施する事業との連携

- ・62市区町村が実施する自然環境保護や地球温暖化防止事業に助成金（上限100万円）を交付

(2) エコプロ2017への出展

【出展内容】オール東京 6 2 市区町村共同事業及び各市区町村の実施している環境施策

【期　　日】平成29年12月 7 日～9 日

【会　　場】東京ビッグサイト

【出展自治体】49自治体

(3) 生物多様性の保全に関する研究

- ・研究会、見学会等の実施
- ・シンポジウムの開催
- ・生物多様性地域戦略検討モデルの精査及びガイドラインの作成
- ・研究会参加自治体：46自治体

3 人々が環境を考え、行動できる場の設定

(1) ホームページの維持管理・コンテンツの充実

- ・オール東京 6 2 市区町村共同事業の普及・啓発を実施

(2) みどり東京フォトコンテストの実施

- ・東京のみどり・自然をテーマとしたフォトコンテストを実施
- ・上位入賞作品を使用したカレンダーの作成、配布

このオール東京62市区町村共同事業は、主催を特別区長会・東京都市長会・東京都町村会が、企画・運営を(公財)特別区協議会・(公財)東京市町村自治調査会が担当しています。

○ 特別区長会 会長 西川 太一郎 (荒川区長)

東京23区長で構成。特別区に共通する課題についての連絡調整及び調査研究、特別区の自治の発展を図るために必要な施策の立案及び推進などの活動を行っている。

事務局：特別区長会事務局 [千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館]

○ 東京都市長会 会長 長友 貴樹 (調布市長)

東京26市長で構成。多摩の各市間の連絡協調を図り、市政の円滑な運営と向上を期し、地方自治の発展に寄与することを目的としている。

事務局：東京都市長会事務局 [府中市新町2-77-1 東京自治会館]

○ 東京都町村会 会長 河村 文夫 (奥多摩町長)

東京13町村長で構成。町村会間の連絡、調整や地方自治についての調査研究などを行うことで、地方自治の振興、発展を図ることを目的としている。

事務局：東京都町村会事務局 [府中市新町2-77-1 東京自治会館]

○ (公財) 特別区協議会 理事長 西川 太一郎 (荒川区長)

特別区における円滑な自治の運営とその発展とを期すため設立された公益法人として、特別区の自治に関する調査研究、情報提供、講演会の開催、東京区政会館の経営などを行っている。 [千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館]

○ (公財) 東京市町村自治調査会 理事長 長友 貴樹 (調布市長)

多摩・島しょ地域の自治の振興を図り、住民福祉の増進に寄与することを目的とした市町村共同の行政シンクタンクとして、調査研究・共同事業・普及啓発・市民交流活動への支援などを行っている。 [府中市新町2-77-1 東京自治会館]

オール東京62市区町村共同事業 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」共同宣言

かけがえのない地球を守ろう ~一人ひとりの力をつないで~

私たちの暮らす東京は、人口1,280万人を抱える世界有数の都市でありながら、多摩の山並み、武蔵野の雑木林のみどり、伊豆諸島・小笠原諸島周囲の美しい海原など、多様な自然環境を有しています。

一方、東京は人口や経済活動が集積し、資源やエネルギーの大量消費地としてCO₂の大量排出、ヒートアイランド現象、森林の荒廃、海洋汚染などさまざまな環境問題にも直面しています。

特に暮らしと密接な関係にあるCO₂は、オフィスや家庭でのエネルギー消費量が増大し、京都議定書の発効から2年が経った現在でも、削減の兆しが見えない危機的状況にあります。

今こそ、私たちは、地球環境問題の被害者であり加害者でもあることを改めて認識し、一人ひとりの力をつないで、東京そして地球の環境を守るため、できることから行動するときです。

東京62市区町村は、かけがえのない地球を守るために、連携・共同して「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を展開し、次の行動を起こすことを宣言します。

一、 CO₂削減につながる活動の普及に努め、省エネルギーの促進、温室効果ガスの排出抑制を図ります。

一、 みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制を構築します。

一、 人々が、環境を考え、行動できる場を作ります。

2007年10月3日

オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止
プロジェクト

平成29年度事業報告



①共同事業普及・啓発

ゴーヤ・アサガオの種の配布（合計86,000袋）



←ECOネット
東京ホーム
ページに掲載

③各団体の実施する事業との連携

市区町村が実施する事業に助成金（上限100万円）を交付。



水辺の楽校



緑化推進



環境フェスティバルの開催



森林環境整備



家庭での省エネ推進

④エコプロ2017への出展



ステージショー



自治体ブース



ワークショップ

⑤生物多様性の保全に関する研究



シンポジウム



見学会



研究会



先進事例視察

⑥ホームページの維持管理・コンテンツの充実

みどり東京・温暖化防止プロジェクトホームページ「ECOネット東京62」

トップページ

ECOネット東京62

オール東京62市區町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト
powered by Google カスタム検索 検索 × サイトタップ

トップページ お知らせ イベント 環境レポート エコアカデミー エコ質問箱 みどり・東京温暖化防止プロジェクト

誰もがいつでもCO2削減をはじめとする環境負荷低減活動に参加できるために…
東京都内の全62市區町村が連携して取り組んでいる「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」のホームページです。

みどり 東京・温暖化防止 プロジェクト

プロジェクトの詳細を見る >

かれんとシーナのエコ質問箱

身近なエコから地球の自然や環境について、2人といっしょに学ぼう！
シーナとかれんはみどり東京・温暖化プロジェクトのイメージキャラクターです。

新着情報・お知らせ > 新着情報・お知らせ一覧へ

各62市區町村のホームページから集めたエコ情報を掲載しています。

外都リンク

2017年12月28日 オール東京62
● 「かれんとシーナの『エコ質問箱』(質問箱)『セルロースナ／ファバーって何?』を公開しました。」

2017年12月22日 オール東京62
● 活動紹介(第91回)「世代をこえてリサイクル生活文化の輪をエコのように広げたい(北区赤羽エコーアンダーバルク)」を掲載しました。■

2017年12月18日 オール東京62
● エコアカデミー(第76回)「東京オリンピック・パラリンピックのメダリ製作に協力を」を接続しました。■

2017年12月25日 足立区
● 秋の「みどり地域清掃」活動を実施(加賀保園・皿沼小学校・加賀中学校)■

2017年12月19日 小平市
● 小平市環境家庭計画アドバイザー■

2017年12月15日 新宿区
● みどりの基本計画(改定)案へのご意見をお寄せください■

イベントカレンダー
2018年1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

新着イベント
外都リンク

2018年3月10日 立川市
● たちかわ・こどもエコクラブ■

2018年2月27日 足立区
● 【みどりのカフェ】みどりのレッスン「色や香を楽しもう!ボブリのつくり方(2月27日)

エコニュース・エコアカデミー

環境レポート エコに関する最新情報を発信しています。

活動紹介 > 活動紹介一覧へ
第91回 2017.12.22
世代をこえてリサイクル生活文化の輪をエコのように広げたい(北区赤羽エコーアンダーバルク)
リサイクル先進区として有名な北区には「エコーアンダーバルク」と名づけられたリサイクル活動の拠点が4か所あり、その1つである赤羽エコーアンダーバルクが2017年4月にJR赤羽駅の近くにリニューアルオープンした。そこでは、リサイクルを楽しむためのさまざまな活動が行われているというので、その1つ「さき布織り」の講座を訪ねて話を聞いてきた。...[続きを読む]

環境事業紹介 > 環境事業紹介一覧へ
第41回 2017.10.26
北区:美化ボランティア制度を活用して区民主体の景観づくりの取り組みを支援(ひらくいまちづくり事業)
東京都北区は、名前の通り、東京23区の北部に位置し、荒川を挟んで埼玉県と接している。都心にほど近く、区内にある駅の駅数は都内最多の11駅、東京メトロや都営地下鉄、都電荒川線を含めて多くの交通が行きかい、区内のほとんどが住宅地で、駅から徒歩圏内と便利な立地にある。...[続きを読む]

エコアカデミー 毎月1回、環境に関する専門家・有識者のお話を海外の事例を紹介します。

第76回
(公財)廃棄物・3R研究会
団理事長、岡山大学名誉教授
田中 勝
(東京オリンピック・パラリンピックのメダリ製作に協力を)
2017.11.17
2017.12.18

第75回
海外事例
ハロウィンをグリーンに!:アメリカ、ナッシュビル市
2017.11.17

第74回
海外事例
国立環境研究開発機構
生物資源研究センター主任研究員
今藤 夏子
[氷にこもった生き物の情報
~環境DNAを利用した生物調査~]
2017.09.20
2017.10.30

第73回
海外事例
市民参加型予算で持続可能な都市を:フランス、パリ市
2017.09.20

第71回
海外事例
[ランチョン・ムーブメント発祥の地:イギリス、トットネス]
2017.07.21
2017.08.18

第70回
海外事例
国連大学サステナビリティ高等研究所 所長
竹本 和彦
[持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて
世界につながる地域の取組み]
2017.07.21

⑦みどり東京フォトコンテストの実施

- 東京の魅力がいっぱい詰まった作品
3,789枚の応募があり、厳正な審査の結果、57作品が入賞しました。



入賞57作品



審査会の様子

- 上位入賞作品を題材としたカレンダーを作成し、市区町村等への配布を通じ、本プロジェクトの趣旨の普及・啓発に努めました。



2018年
カレンダー

